

2020年度 自己評価結果公表シート

学校法人 常楽寺学園 認定こども園 穂積幼稚園

1. 本園の教育目標

[保育目標] 自分らしさを発揮しながら 豊かな創造性や感性をもち やろうとする力や向かう気持ち
あきらめずに達成する力が強く 人とつながる喜びを知る人になる

[保育方針] そのままの姿を受けとめよう たくさん抱きしめよう たくさんの失敗ができることにしよう
「ホンモノ性(学びの対象・人としてのあり方)」を大切にしよう
すべての人の違いは豊かさであり 同じ価値の存在として認めよう
一人ひとりの個性を尊重しよう

[まわりの大人が大切にしたいこと]

子どもを中心として それを取り巻く大人たちが 支えや学びの共同体になろう
子どもを生まれた時から 幅広い分野で発達する 生きた人間として見よう
子どもたちに人生の魅力を語ろう
子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう
大人も子どもも 豊かな安全基地をもち 愛着を安定させよう

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもたちの主体性や創造性を育むために、子ども理解の質をさらに深め、子どもや大人の「つながり」の力を、環境を通して行う教育に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	評価	取組み状況
幼児教育無償化への対応	B	2019年10月1日より施行された幼児教育無償化への対応として、保護者の方の預かり保育ニーズの調査や教職員の人員確保、保育内容やクラス編成など、すべての内容を見直し対策を行ったが、幼稚園教諭の人員不足が深刻化するなど、預かり保育への対応はかなり難しいと感じている。 今後は、社会の情勢が不安定になることも予想されるなど、預かり保育のニーズは高まると思うが、保育所ではなく幼稚園としての幼児教育を主とする施設のため、幼児教育・保育内容の充実も含めた新たな対策を模索していく必要がある。
一時預かり事業(幼稚園型)【のびのび】の内容見直し	A	他の施設では、預かり保育の定員を定めるなどしているが、当園では新2号認定の無償化の範囲内での定員は設けず、受け入れることができた。 料金に関しては、政府から金額の目安が示されたことにより、無償化範囲外の金額が高くなったことは今後の課題である。
給食の質向上を図る	B	自園給食への移行策として、認定こども園 豊中ほづみ保育園からの給食のケータリングを行うための車両購入などは行ったが、設備改善や人員確保までは至ることができなかった。次年度にも再掲する。
職員の働き方改革について	A	教職員の有給休暇等の取得方法(長期休暇以外での平日の取得)を少しずつだが達成することができたが、残業に関しては新しい保育内容を始めたことで会議が増え、さらに、新型コロナウイルス感染症の消毒作業により時間数が増加することになった。 今後は、消毒作業での新たな人員を増加するなどの対策が必要である。 処遇改善以外での賃金改善については、保護者の方のご協力により特定負担額(教育充実費)を賃金改善に充てることができ改善をすることができた。

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

A	毎年、年度末に学校や保護者などの関係者からアンケートをとり、結果を踏まえ保護者の代表とともに学校関係者評価会議を行っている。特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。
---	--

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

課 題	具体的な取組み方法
新型コロナウイルス感染症への対策	新型コロナウイルス感染症の影響が今後はさらに拡大することが予想されるため、感染予防対策をしっかりと検討し、実践していきたい。また、ICTを活用した健康チェックを行うなど、子どもの育ちや体験をできる限り確保しつつ、周りの大人たちによる意識や行動で守っていききたい。
一時預かり事業(幼稚園型)【のびのび】の内容を検討する	社会の情勢が不安定になることが予想されるため、就労の時間等が増加する可能性がある。それに比例して、預かり保育の時間数も増加することが予想されるため、幼稚園教諭の人員確保を検討していく。
新しい幼児教育に向けて取り組む	令和2(2020)年度から異年齢保育やプロジェクト保育を行う予定だが、子ども達の育ちの姿をしっかりと見取りながら、実践していく。
給食の質向上を図る	自園給食への移行策として、昨年度に達成できなかった設備改善や人員確保を検討する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

--

7. 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。
